

2025年度 事業所における自己評価（保育所等訪問支援事業）

公表日：2026年3月31日  
よこはま発達サポートルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や今後の取り組み
環境 制・ 運 備 営・	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	100%	0%	事前にお子様を評価し、必要に応じて、発達特性に合った内容の支援ツールの提案や提供を行っています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	事業所のプログラムの運用上、訪問日の調整はさせていただきますが、配置を理由にお断りするなどの事象は起きておりません。引き続き、ご相談し、ご依頼いただきました訪問に関しては、調整ができないということがなく実施できるよう努めていきたいと思っております。
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎日の活動後に、その日の評価に基づいたカンファレンスを行い、次回のような工夫をするのか、そのための準備は何をするのかを検討しています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	自己評価を実施しました。アンケートでいただいたご意見は業務改善の際のヒントとさせていただきます。保護者様には、定期的にご意見やご意向をうかがい、可能な範囲で改善に努めています。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的な職員のミーティングを行い、出された意見をもとに改善に努めています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	第三者による、TEACCHプログラムのフェディリティーチェックを行いました。今後必要に応じて検討していきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	日々、個々の事例については相談できる体制があります。また月に1度のケースカンファレンス、および月に1度の研修の場を、グループ内で協力して確保しています。さらに外部の研修にも法人からの補助を活用して参加しています。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%	訪問にうかがう前に、訪問先とコンタクトをとって情報収集を行っています。加えて、保護者様との面談も行っています。訪問支援中は、一つ一つの場面に対してアセスメント記録を取り、終了後に検証、次への修正・改善点などを明らかにしています。それらに基づき、月に1回は保護者様との面談の機会を設けております。その他、適宜ご相談いただけるようにはしております。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	アセスメント後に会議を開いています。職員間で情報を共有するとともに、お子様の特性に合わせた支援方法を検討する場となっています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	訪問の前に、担当の先生と話し合いながら、意向を盛り込んでいます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画に基づいて、活動や課題の設定をしています。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	個々にフォーマル・インフォーマルなアセスメントを実施しています。よこはま発達グループの他のサービスをご利用されているお子様に関しては、フォーマルアセスメントや診察内容、支援内容等の情報を全スタッフで共有し、包括的に活用しています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	個々にフォーマル・インフォーマルなアセスメントを実施しています。お子様やご家庭のニーズなどを把握した上で、ガイドラインの支援内容から必要な項目を選択し、課題設定・活動の設定をしています。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	会議を開き、支援計画の内容を職員間で共有しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	訪問前に必ず打ち合わせを実施しています。

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	訪問支援中は常にアセスメント記録を取り、終了後には必ずミーティングを実施しています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%	訪問先の先生方とコミュニケーションを取るようして、訪問先の理念や状況等を把握し、その中で可能と思われる具体的な取り組みと一緒に検討できるようにしています。
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	訪問支援中は一つ一つの場面に対してアセスメント記録を取り、終了後に検証、次への修正・改善点などを明らかにしています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	概ね6カ月に1度の大きな支援計画の見直しを行っております。また日々の課題設定は日々の評価に基づき修正・変更しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	必要に応じて、お子様の支援担当者が連携を行っています。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	協力医療機関であるよこはま発達クリニックやその他の外部の関係機関と、情報共有や保育所等訪問などを活用し、連携体制を組めるよう努めています。通所している多くのお子様は特によこはま発達グループ内の他のサービスも利用しており、これらの機関とは日常的にやり取りしています。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保育所訪問や保護者様を通して、幼稚園や保育園等での取り組みの情報を得たり、サポートルームでの支援内容を幼稚園・保育園等にお伝えしています。また、保護者様のご要望があれば電話での情報共有も可能です。年長のお子様については、引き継ぎシートを保護者様と一緒に作成し、スムーズに移行できるように努めています。就学後も必要に応じて、学校と連携を取れる体制を整えています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	100%	0%	日々、個々の事例については相談できる体制があります。また月に1度のケースカンファレンス、および月に1度の研修の場を、グループ内で協力して確保しています。さらに外部の研修にも法人からの補助を活用して参加しています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	33%	67%	区の児発・放デイ連絡会には、都合がつけば参加しています。今後、協議会からの案内があれば積極的に参加していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々の連絡アプリケーションのほか、親子通所をしてもらっているため、毎回活動の様子をフィードバックしたり、相談をしています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	療育の基本的考えが、お子様個人の強みや特性を尊重し、それを家庭や地域生活に汎化できるようにしていくことです。そのために、親子通所をしていただき、そのアイデアを共有したり、ご相談に応じております。また必要な方は、家庭で活用できる支援グッズの作成なども職員と一緒にしております。さらにグループ内の機関とも連携し、希望者には教育や相談の講座を受講できるようにしています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学・契約時に書面を用いて説明を行っておりますが、より丁寧でわかりやすい説明を心がけてまいります。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	訪問前に電話にて、趣旨・目的をお伝えしています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	訪問前に、保護者様と面談を行っています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	作成した計画の読み合わせをしながら保護者様に説明を行い、サインをいただいています。

保護者等への説明等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	親子通所のため、保護者様とも日常顔を合わせ、お話する機会があります。その他、個別の定期面談が設定されています。今後も職員間や関係機関との情報共有も深める中で、ニーズやお気持ちを汲めるように取り組んでまいります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	現在は行っていません。今後必要に応じて検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	その都度迅速に対応できるよう努めています。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ホームページに毎週、日々の取り組み等についてのコラムを載せています。また、年末年始やお盆の期間の休業については、連絡アプリケーションでお伝えしています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	十分に気を付けて取り扱いをしています。これまで特に問題となったことはありません。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	個々のお子様に合わせて、理解できる環境・表出しやすい環境の設定を工夫しています。また、保護者様と情報共有をするために、定期面談や連絡アプリケーション等を取り入れています。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	訪問時にパンフレットをお渡ししたり、連絡先を交換し、必要時にはご連絡をいただけるようにしています。引き続き、ご家庭のみならず、訪問先の園等に対しても、お役に立つよう努めたいと思います。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%	訪問先の担任の先生や加配の先生などとカンファレンスする時間を設けております。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	支援内容について記録での報告や面談を行っています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵のついたロッカーやオンライン上で管理するなど、十分に気を付けて取り扱いをしています。これまで特に問題となったことはありません。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	訪問先の先生方とコミュニケーションを取るようにして、訪問先の理念や状況等を把握し、その中で可能と思われる具体的な取り組みを一緒に検討できるようにしています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルを用意しています。ご自宅からご確認いただけるようにするなど共有の仕方を検討していきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	BCPに沿った研修を実施しています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎日の振り返りで、ヒヤリハットについて職員で共有しています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止についての研修を実施しています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	現在のところ、身体拘束を行っているお子様はいません。